

令和5年度「日本型教育の海外展開（EDU-Port ニッポン）応援プロジェクト」及び  
「予測困難な時代の学びを保障する学習手法の共有と海外展開に関する調査研究（フィージビリティ・スタディ）」  
寄せられたご質問と回答について

日頃より、日本型教育の海外展開（EDU-Port ニッポン）の活動にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

令和5年5月9日に開催した 公募説明会以外 でお寄せいただきましたご質問について、回答を整理し、一覧にまとめました。ご参照いただけますと幸いです。

1. 「日本型教育の海外展開（EDU-Port ニッポン）応援プロジェクト」「予測困難な時代の学びを保障する学習手法の共有と海外展開に関する調査研究（フィージビリティ・スタディ）」両事業に関するご質問

	ご質問	回答
1	<b>カウンターパート</b> 申請機関の現地法人は、現地カウンターパートとしての要件を満たすか。	現地カウンターパートは、申請機関の現地法人でも差し支えありません。
2	<b>カウンターパート</b> 申請書（様式1）の「3. 公募要領上で求められている要件への対応について」のNo.4「カウンターパートの協力は確保できていますか。」の記載について、詳細をご教示いただきたい。	<ul style="list-style-type: none"><li>● 相手国（調査対象国）・地域におけるカウンターパートの協力確保は必須要件となっております。</li><li>● カウンターパートは必ずしも政府機関だけを想定したものではありません。申請機関を支援する機関のみではなく、現地で一緒に活動する機関もカウンターパートに含みます。</li><li>● 採択後、協働する約束があればカウンターパートとして申請いただけます。申請書の「カウンターパートとの関係」欄において説明ください。</li></ul>

3	<p><b>連携機関</b></p> <p>連携機関から連携の確約が得られておらず、誓約書への記入が難しい場合、検討中である旨を記載すればよいか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国立大学法人、学校法人、地方教育委員会等をパートナーに含めることは望ましいですが、必須要件ではありません。</li> <li>● 申請書に日本側の連携機関として記載された機関については、「予測困難な時代の学びを保障する学習手法の共有と海外展開に関する調査研究（フイージビリティ・スタディ）」では（様式4）「誓約書」、「EDU-Port ニッポン応援プロジェクト」では（様式3）「誓約書」に記載いただく必要がございます。</li> </ul>
---	---	---

## 2. 「日本型教育の海外展開（EDU-Port ニッポン）応援プロジェクト」事業に関するご質問

	ご質問	回答
1	<p><b>申請機関</b></p> <p>公立学校からの申請は可能か。それとも、教育委員会を通しての申請が必要か。</p>	<p>公立学校からの申請は可能です。</p>
2	<p><b>申請機関</b></p> <p>仮に令和5年度第1回公募で採択された場合、同じ機関が2回目の公募時に別地域での別事業で申請することは可能か。</p>	<p>申請可能です。</p>
3	<p><b>提出書類</b></p> <p>公立学校からの申請の場合、申請書類である「財務諸表」とはどのようなものを提出すればよいか。</p>	<p>公立学校単独で財務諸表を作成していない場合、提出できない理由を記載した理由書をご提出ください。</p>
4	<p><b>申請内容</b></p> <p>資金面について、自立的に実施できる目処が立っていないが、申請可能か。</p>	<p>公募要領に記載のとおり、「資金面について、自立的に実施される事業であること」は必須条件となっております。</p>

5	<p><b>公募回数</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 昨年は年度内に2回公募が行われたが、今年度も複数回の公募を予定しているか。</li> <li>● 来年度以降も同様か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 令和5年度の応援プロジェクトは、今回の第1回公募のほか、10月頃に第2回公募の実施を予定しています。</li> <li>● 来年度以降については未定です。(令和3年度及び4年度については年2回の公募を実施しております。)</li> </ul>
---	--	--

3. 「予測困難な時代の学びを保障する学習手法の共有と海外展開に関する調査研究（フュージビリティ・スタディ）」事業に関するご質問

	ご質問	回答
1	<p><b>公募回数</b></p> <p>今年度の公募は今回のみか。第2回公募を予定しているか。</p>	<p>今年度の公募は、今回のみです。但し、今回の公募で採択件数が予定数（2件）に満たなかった場合は、再公募を行う可能性があります。</p>
2	<p><b>公募テーマ</b></p> <p>来年度の公募は異なるテーマとなるのか。</p>	<p>来年度については未定です。(令和3年度、4年度、5年度については毎年異なるテーマで公募を実施しています。)</p>